

エコロジール事例集 トルコギキョウ立枯病①（栃木県）

前作では圃場の7割ほどにトルコギキョウ立枯病が発生していたが、エコロジール処理後、全調査地点で*Fusarium oxysporum*（フザリウム・オキシスポラム）が検出限界以下に！

処理条件

※灌水量が不明瞭なため、希釈倍率と希釈液使用量は推定値

[面積]	648㎡	[エコロジール使用量]	1200L
[土壌の種類]	低地土	[希釈倍率]	30~60倍
[処理期間]	2023/7/22~8/16	[希釈液使用量]	55~110L/㎡

処理の流れ

方法：被覆後に希釈液投入

- ①耕うん、畝立て
- ②灌水チューブを敷設後、事前灌水
- ③事前灌水から3~4日後、被覆
- ④被覆翌日にエコロジールを希釈投入
- ⑤26日間被覆
- ⑥被覆除去
- ⑦定植

使用資材

- [灌水チューブ] ネオドリップヨコシタ
- [被覆資材] 農業ポリエチレンフィルム
- [液肥混入器] スミチャージ

ポイント

ここでは、エコロジール希釈液投入前に畝立てを行うことで、耕起等による再汚染のリスクを軽減しました。

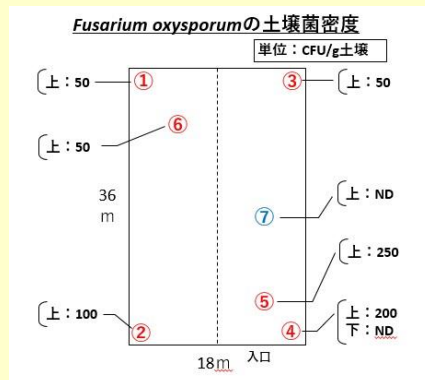
結果

エコロジール処理前



立枯病により大部分枯死（2月16日）

[圃場図]



上層：10~20cm
下層：30~40cm

※NDは検出限界以下

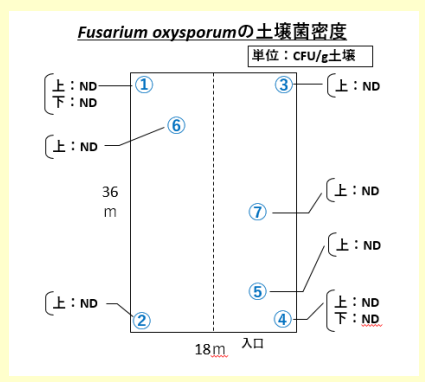
処理前、**上層部で**
Fusarium oxysporum
が検出された

エコロジール処理後



定植後の様子（10月25日）

[圃場図]



上層：10~20cm
下層：50~60cm

※NDは検出限界以下

処理後、**全調査地点で、**
Fusarium oxysporum
が検出限界以下になった

生産者のコメント

全体的に枯れが少なくなった。色々な防除方法を試してダメだった圃場でも、エコロジールを何度か実施すれば、病害の発生をかなり抑えることが出来た。